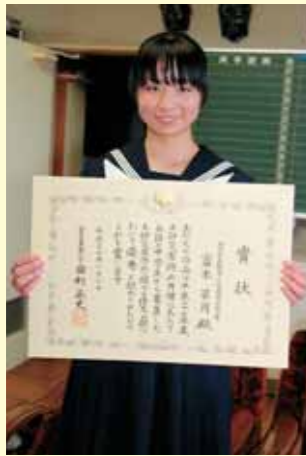


国土交通省事務次官賞受賞 「常に心に防災意識を持って」



片岡中学校3年、富本菜月さんが、土砂災害に関する中学校作文の部で優秀賞（事務次官賞）を受賞しました。この作文で富本さんは、身の回りにひそむ危険を常に意識し、小さな災害の可能性を見逃さないことが大切だと訴えています。この作文を機に家族で災害に関する話し合いが増えたとのことでした。

全国優秀賞受賞【中学生の部】 「ありがとうの花」



片岡中学校2年、小林崇希さんが、小さな親切作文コンクール中学生の部で優秀賞を受賞しました。震災復興ボランティアで宮城県石巻市を訪れた際に、地元の方との交流から気づいたことが書かれていました。この体験以来、自分ばかりではなく、人のために色々と考えられるようになったと話していました。

全日本都道府県対抗剣道優勝大会 県予選副将の部(35歳以上)優勝



2月23日(木)、長屋太志さんが全日本大会県予選副将の部で優勝した報告に市役所を訪れました。

剣道教室五葉館でいつも子どもたちに剣道を教えている長屋さん。久しぶりの大会出場にあたって、自分自身の練習があまり出来ておらず、自信はなかったとのことでしたが、「負ける姿を見せることも指導の一つ」として大会に臨んだそうです。長屋さんは大阪で行われる全国大会に県代表として出場します。

高原山にゆめの森

2月16日(木)、市役所で高原林産企業組合、県、矢板市により、森林の整備に関する協定が結ばれました。県民の森内の約0.55ヘクタールを「高原ゆめの森」と名付け、今後、植樹活動・下草刈りなどを行っていく予定です。活動の中心となる高原林産企業組合の白石盛道代表は、「未来の子どもたちに美しい森林を残していきたい」と話していました。



地域の災害に備えて

3月4日(日)、市消防団による消防防災訓練が行われました。今回は、地震により各地区で小規模・大規模災害が発生したことを想定した情報伝達訓練を実施しました。

市役所に設置した災害対策本部と各分団が、防災無線や衛星電話などを使用し、被害状況の報告や対応措置の指示などの情報交換をしました。今後は、この訓練を行ったことで分かった課題に対応していくための体制を整えていくとのことでした。

最後には、全分団部が市役所内川沿いに集まり放水訓練を行いました。



《訓練概要》

- 9:00 大地震発生(震度5強)サイレン吹鳴による全団員召集
正副団長、正副分団長ら市役所集合
- 9:15 災害対策本部設置(市役所内)
- 9:20 消防団各分団部が各地域に集合
- 9:30 本部より被害状況巡回監視指令
- 10:00 各分団より被害状況報告
- 10:10 大規模災害発生
本部と分団との対応措置指示訓練
- 10:45 災害対応完了
- 11:00 全分団部市役所集合
- 11:30 一斉放水訓練(内川)
- 12:00 撤収完了、市役所玄関前集合・講評

訓練参加者 全6分団部219人



やいたみんなのつどい

2月18日(土)、文化会館小ホールで「第27回やいたみんなのつどい」が開催されました。今年は、「絆 つながりあう社会を目指して～見つけよう今自分にできること」をテーマに、今、被災地のためにできることや、地域で取り組む防災について考えました。

基調講演では、国際医療福祉大学 谷規久子准教授から、「いざという時の備え(減災)をみんなで考えよう!」と題し、普段からしておくべき災害への備えや、地域のつながりの大切さについてのお話をいただきました。

事例発表では、市内ボランティアグループ「風車」代表 渡辺英子さんが、被災地におけるボランティア活動について発表されました。渡辺さんの、「ボランティアは体を使うことも大切ですが、東北に行ってお金を落とすこともボランティアですよ。」とのお話に、大きくうなずく会場の皆さんの姿が印象的でした。



そば打ち教室

3月4日(日)、大槻地内にある田舎暮らし体験「お試しの家」で、そば打ち教室が開催されました。この「お試しの家」事業を行っている市農業公社の職員らが講師となり、そばの打ち方や伸ばし方を指導。

昼食時には、講師が作ったそばを皆で味わいました。

山形県米沢市からお母さんと参加した小学6年猪狩祐樹くんは、「初めて自分でそばを打つことができとてもおもしろかった」と話していました。

